

田原

しがてつたろう
志賀哲太郎先生



生誕の地 大字田原

志賀哲太郎先生は慶応2(1866)年、津森村大字田原の鍛冶屋、甚三郎・ジュカ夫婦の長男として生まれました。

木山志賀塾、熊本の神水塾で学んだあと京都で英語を、更に東京で法律を学びました。一時は政治に関心を持ち、九州日日新聞の政治記者として活躍しますが、仏門に深く帰依し政界と絶縁します。その後、台湾に渡り、明治32年に大甲公学校の代用教員を命ぜられました。

当時、教育への関心が低かった大甲で、学齢期の子どもたちの家を訪ねて、教育の重要性を説いて廻りました。学校では鉛筆や紙を与え、病気の子どもは、牛乳、菓子、絵本などを持って見舞いました。さらに学費を補助するなど、その努力は並々ならぬものでした。先生の誠意が通じ、学校は県下一の出席率・進学率となり、やがて大甲から各界の重要な地位につく人材を多く輩出する基となりました。

台湾総督府の圧政の中にあって、常に住民の側にたち、住民や子弟から慕われていた先生は、大正12年頃から活発化した民族運動に教え子たちが参加するようになり、板挟みとなり、自決して果てました。大正14年、60歳でした。

教え子たちが墓碑を建立し、命日や清明節には花や香を手向け冥福を祈りました。

没後50年後も世界各地から教え子たちが大甲に集まり、生誕百年祭を行い、記念碑の建立と伝記の出版などが決められました。先生は「大甲の聖人」と呼ばれ、今も大甲の人々に尊敬し慕われています。

津森にあった日本の墓は今では取り壊されてありませんが、熊本市桃尾墓園に、甥が建立した墓碑があります。

参考文献／台湾大甲の聖人「志賀哲太郎傳」桑野豊助著

BABY

わが家の天使 こんにちは赤ちゃん



わだ わかな ちゃん
(馬水南)

じいじ、ばあば、いつもありがとう♡今年と一緒にピーマンを収穫しようね♪

パパ ちしおさん ママ みわこさん



たかだ みおり ちゃん
(広島4町内)

あけましておめでとう。おじいさん、おばあさん、いっぱい遊ぼうね♪ 沢山食べて大きくなるぞ〜

パパ まさるさん ママ みゆきさん

MAIL

ご意見・ご感想 の紹介コーナー

✉ 町内にある保育園・幼稚園(公立・私立関係なく)で園開放日などがあれば知りたいです。園の方針や特徴など1月に1園ずつの紹介コーナーなどもあればこれからの園選びの参考になるので嬉しいです。P.N ミニー

✉ インフルエンザの予防接種を受けましたが、以前は町の補助があり安くできましたが、今はとても高くなっています。以前のような補助制度の検討をお願いしたいと思います。惣領 田代西

✉ 町民憩いの家の温泉を時々利用させていただいていますが、65歳以上100円で大変有難いんですが…。もう少し高くてもいいのではと思っています。管理や維持で大変だと思います。辻の城 鷹野光代

✉ 広報ましき、いつもすみずみまで見てます。ただ、いつも配られるのが遅く…。もうイベントが終わっていたりと、少し残念です。匿名希望